

教材例集と『初級会話テキスト』副教材の活用内容対応表

	教材集	初級会話テキスト副教材
①	<p>(01)医療機関で治療を受ける p 11 活動 2 ー何科に行きますか</p>	<p>L 19 (p 37～ p 38) F B 後の発展的練習 どこへ行きますか。どうしましたか。「ないでください」を追加し、3 項目を線をつなぐ練習をする。 例えば、「内科」「発熱」に「お風呂に入らないでください」をつなぐ。 「ないでください」の追加項目 ①お風呂に入らないでください②走らないでください③お酒を飲まないでください④タバコを吸わないでください⑤かかないでください</p>
②	<p>(44)余暇を楽しむ p207 活動 3 ー行ってみよう 調べてみよう やってみよう (1)</p>	<p>L 21 (p 41～ p 42) 練習 書く前の追加口頭練習 副教材を宿題として渡す場合は、渡すときに、書く練習の前の練習として、様々な施設で何ができるかを口頭で言う練習をする。 副教材を教室で学習者と一緒に行う場合は、「答えてください」の後に、様々な施設で何ができるかを口頭で言う練習をし、その後書いて覚える練習をする。</p>
③	<p>(02)薬を利用する p 32 活動 5 ー風邪を引いたら…</p>	<p>L 28 (p 55～ p 56) F B 時に発表する発展的練習 副教材を宿題として渡す場合は、活動シートと一緒に渡し、「風邪のとき、どうするか」を答える練習をした後、家族や友人の対処法を聞いて、シートにメモ (母語でもいい) してきてもらい、F B 時に発表させる。 副教材を教室で学習者と一緒に行う場合も、活動シートを渡し、「風邪のとき、どうするか」を答える練習をした後、家族や友人の対処法を聞いて、シートにメモ (母語でもいい) してきてもらい、F B 時に発表させる。</p>